

**製品名: Stat5 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81410**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	90.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Stat5
別名	MGF; STAT5A
遺伝子 ID	6776.0
SwissProt ID	P42229
免疫原	ヒト Stat5 の合成ペプチド (AA: KAVDVG[pTyr]VKPQIK)。

**背景**

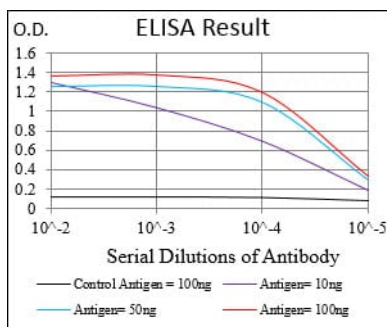
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーです。サイトカインおよび成長因子に応答して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞

核に移行し、そこで転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、IL2、IL3、IL7、GM-CSF、エリスロポエチン、トロンボポエチン、および様々な成長ホルモンなど、多くの細胞リガンドによって活性化され、それらの応答を媒介します。TEL/JAK2 遺伝子融合に関連する骨髄腫およびリンパ腫におけるこのタンパク質の活性化は、細胞刺激とは無関係であり、腫瘍形成に必須であることが示されています。この遺伝子のマウス対応遺伝子は、BCL2L1/BCL-X(L)の発現を誘導することが判明しており、これは細胞内でこの遺伝子が抗アポトーシス機能を持つことを示唆しています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。

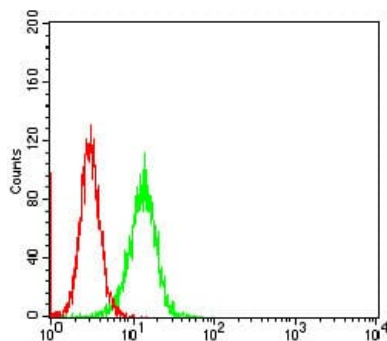
## 研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Stat5 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。